

科目名	リハビリテーション医学					授業の種類	演習	必修・選択	必修
授業回数	8	回	時間数	15	時間	1	単位	配当学年時期	1年 後期
【授業の目的・ねらい】 医療現場におけるチームとは何かを学び、自らの役割を自覚し、多職種との連携について理解する。									
【実務者経験】									
【授業全体の内容の概要】 他職種連携の重要性を説明することができる。 言語聴覚士としてチーム医療に携わるために必要な知識と役割について理解できる。 国家試験に則した基礎知識を身につける。									
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 リハビリテーションの基礎とその障害への対応について理解する。									
回数	講義内容								準備物(教材)
1	リハビリテーション医学概論・リハビリテーション総合評価(ADL, QOLなど)とクリニカルパス								
2	脳血管疾患リハビリテーション・がんのリハビリテーション								
3	運動器リハビリテーション・呼吸リハビリテーション・心臓リハビリテーション・精神科リハビリテーション								
4	NST(栄養サポートチーム)と褥瘡予防, ポジショニング, 廃用予防								
5	医療の現場での基本① 救急蘇生法								
6	医療の現場での基本② 吸引								
7	医療の現場での基本③ 感染予防, 口腔ケア								
8	医療の現場での基本④ バイタルサイン								
定期筆記試験									
【使用教科書・教材・参考書】 『言語聴覚士テキスト』第3版 医歯薬出版 『リハビリテーションビジュアルブック第2版』学研 『リハビリテーション基礎からナビゲーション』第一出版									
【準備学習・時間外学習】 テキストを参照し、復習を要します。									
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。									